

News Letter

2018.01

Vol. 13

Contents

- 医師のキャリアとワークライフバランスを考えるを開催
- 医療人パパの会を開催
- 女性医師交流会のお知らせ

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます

本年もより一層のご支援を賜りますよう、センター一同心よりお願い申し上げます



センター長
副センター長

藤木 稔
松浦 恵子



レポート

医学部4年生

「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」の講義を開催しました

12月20日（水）挟間キャンパス臨床中講義室にて、医学部4年生を対象に「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」と題したキャリア教育の講義が開催されました。

本学では、昨年度より始まったこの講義ですが、“学生が卒業後、様々なライフイベントや岐路に立った時、自らキャリア形成やワークライフバランスをどうしていくのか”を学生自身で考えられようになることを目的としています。最初に腎臓内科の中田先生と耳鼻咽喉科の立山先生が、診療科を選んだ理由やこれまで歩んできたキャリアやその過程での悩み、仕事と家庭の両立についてお話しいただきました。学生は、現役医師のリアルな話に真剣に耳を傾けていました。

その後、学生は12のグループに分かれてチュートリアル室へ移動し、仕事と育児の両立を目指す共働きの夫婦が問題に直面した時に、どのように解決していくかを提示された2つの事例を基に討論を行いました。

≪事例1≫夫婦ともに大事な仕事の予定が入っている日に、子どもが熱を出したという設定。

≪事例2≫妻に海外留学の話が出たが、小さな子供がいる。どうするのが良いかという設定。

事例1と事例2を6グループずつに分かれて、事例の問題点、解決策、最善と考える選択と理由についてプロダクトを作成しました。その後、講義室に戻り、心臓血管外科の宮本先生からキャリアアップとワークライフバランスについての講義がありました。現役外科医でありながらイラストレーターとして本も出版されている宮本先生のイラストと、座右の銘が随所にちりばめられているスライドに学生は釘づけでした。また、留学の経験や現在の医局での女性医師の働き方についてのお話にも、学生たちは真剣に耳を傾けていました。宮本先生の講義の後は、グループで話し合った結果の発表です。各事例3グループがロールプレイによる発表、残り3グループがプロダクトを使つての発表となりました。ロールプレイはグループ毎に工夫されており、それぞれの夫婦役の他に両親や上司、同僚と多彩な配役と土下座有り、夫婦の確執有とドラマ張りの熱演してくれたグループもありました。そして、プロダクトを使って発表したグループでは、子育て支援に関する制度などもきちんと調べて加えられており、とても充実した内容となっていました。

受講後の学生達の感想は、「将来のことを考えるきっかけになり、参加してよかった」「進路について具体的に考えられるようになった」という声が多く寄せられました。



腎臓内科
中田健先生



耳鼻咽喉科
立山香織先生



グループ討論の様子

心臓血管外科
宮本伸二先生



ロールプレイ(発表)の様子